



掴め君の未来を!

令和6年2月号

慶進中学校・高等学校
進路部
令和6年1月24日発行

3年生は、共通テストお疲れさまでした。現在、国公立大学の前期・中期・後期日程の出願校が、決まりつつあるところだと思います。出願校が決まれば気持ちを切り替えて、私大入試や国公立大学個別学力検査(以下、2次試験)に向けて、勉強に集中していきましょう。前期日程の2次試験まで、残り1か月です。今月号の「共通テスト後の得点最大化計画」の記事を参考にしてください。2年生にとって、次の共通テストは皆さんの番です。受験のカウントダウンがすでに始まっていることを意識しましょう。

1年生は、1月の模試が終わると、次の模試は2年生の7月までありません。それまでの半年間でいかに実力アップを図るかが、皆さんにとっての勝負です。

●大学入試トピックス～令和6年度大学入試共通テスト速報

(「高校生新聞オンライン」(1月19日)の記事から抜粋)

① 全体概観

大学入試センターは1月19日、2024年度大学入学共通テストの大半の答案の採点を終え、平均点などの集計を発表した。理科や地理歴史、公民の得点調整を行わないことも決めた。全ての採点結果を反映させた最終集計は、2月5日に発表される予定だ。

② 教科・科目別平均点(1月19日発表の中間集計)

(受験者数 456,332人)

教科名	科目名	受験者数	平均点
国語	国語	432,991	116.50
	世界史B	75,838	60.28
	日本史B	131,269	56.27
地理歴史	地理B	136,914	65.74
	現代社会	71,959	55.94
公民	倫理	18,192	56.44
	政治・経済	39,467	44.35
	倫理・政経	43,810	61.26
	数学Ⅰ・A	339,018	51.38
数学	数学Ⅱ・B	312,136	57.74

教科名	科目名	受験者数	平均点
理科	物理基礎	17,940	28.72
	化学基礎	92,861	27.31
	生物基礎	115,280	31.57
	地学基礎	43,354	35.56
	物理	142,476	62.97
	化学	180,716	54.77
	生物	56,571	54.83
英語	地学	1,787	56.67
	リーディング	449,117	51.54
	リスニング	447,330	67.24

●共通テスト後の得点最大化計画

(蛭雪時代2023年2月号の記事をもとに作成)

共通テスト(以下、共テ)終了後、国公立大の前期日程までは約40日。これは夏休みとほぼ同じ時間です。しかも、夏休みよりも取り組むべき科目数が少なく、かつ、問題演習を通じて実戦力がついているため、同じ40日間でもこの時期の方がより実力を伸ばすことができます。体系化した知識を駆使してネットワークを密にしていく学習は、まるで軌道に乗ったロケットのようにスムーズに進むはず。2次試験は真の実力が試される勝負。最後まで伸びると信じて、走り切ろう。

☆共通テスト後に飛躍する受験生の特徴

- 毎日学校に登校し、積極的に先生の添削指導を受ける
- 自習室で勉強し、仲間存在を追い風にできる
- 不安やストレスにうまく対処し、安定したメンタルで過ごす

① 共テ後(～2月初旬)・・・納得できる出願校を決めたら、計画を立てて再スタート!

共テの自己採点后、出願校が決まるまでは落ち着かない日々が続きます。とことん悩み抜いて納得する結論が出せたら、スパッと気持ちを切り替えること。これまで取り組んでいた記述対策の参考書や問題集を開いて、意識と感覚を呼び覚まそう。どの時期に何をやるかという学習計画をあらためて練り、40日間の見通しを立てることも大事です。

② 私大入試期(2月初旬～中旬)・・・国公立大学志望者も全力で私大の合格をとりにいく

この時期は、併願校であっても私大の対策にある程度時間と労力を割く期間だと割り切って、全力で私大の合格を取りに行きましょう。一方、国公立大2次試験に向けて不安が残る科目や勘を鈍らせない分野(英語・国語の長文読解など)については、2日に1回などと決めてコンスタントに取り組んでおくこと安心です。記述問題の添削をお願いしている先生にも相談しましょう。

③ 国公立大前期 直前(2月中～前期日程)・・・すべてやり切る心構えで、実力を最大限引き上げる

最も実力が伸びるのがこの時期。同時に、不安の波が押し寄せる時期でもあります。「人事を尽くして天命を待つ」の心境に至れるよう、できることはすべてやり切る心構えで2次試験の対策に臨もう。直前用に残っていた志望校の過去問を本番の予行練習のつもりで解き、時間配分や得点戦略などを再確認すると同時に、参考書を読み直すなどして弱点分野を補強することも忘れずに。

④ 国公立大前期 終了後(～後期日程)

・・・**気の緩みに要注意。最後まであきらめない受験生が勝つ!!**
前期日程の終了後、後期日程の試験までは、実は2週間以上あります。後期はいわば敗者復活戦。「2週間あればまだいける。まだ伸びる!」と、最後まであきらめずに粘り切れる気持ちの強い受験生が勝ちます。3月1日に行われる卒業式で、気の抜けてしまう生徒がいます。当日はたっぷり余韻に浸りつつ、翌日にキッパリ頭を切り替えて、後期対策に取り組もう。

●面接試験・小論文試験対策

国公立大2次試験や一部の私立大学の一般選抜で、面接や小論文が課される場合があります。今まで何の対策もしておらず、自信のない人も多いと思います。でも大丈夫です! 2次試験まで1か月の時間があります。しっかり準備し、何度も練習を積めば、十分試験に間に合います。面接練習や小論文の添削は、先生に足を運んだ数だけ力になります。先生に相談しながら、積極的に練習を積んでいきましょう。※先生に事前の連絡をとり、アポイントメントをとることを忘れずに!

●先輩の合格体験記 昨年卒業した先輩方の「2次試験」直前の心境を抜粋して掲載しています。

<p>岡山大学医学部 赤本をやって、数学の複素数や積分(体積)が解けず、これらの分野が出たら終わりだと思いました。きちんと勉強してこなかったことを後悔しましたが、やれることはやろうとがんばりました。結果、直前にやった整数の問題が出て、ラッキーでした。</p>	<p>東京大学文科三類 前日に大学を下見していたことで、意外に安心感がありました。しかし、電車には受験生があふれ、門の周辺にたくさんの方がいて緊張しました。共テの時と同様、焦らないことを心がけ、頭の中で古語・漢字を確認し、一限目の国語に備えました。</p>	<p>九州大学工学部 共通テストリサーチが余裕のE判定だったけど、2次試験への圧倒的自信があれば、大丈夫です。</p>
<p>大阪大学外国語学部 共テの時と同様、不安や緊張はありましたが、今まで使ってきた単語帳やノートを見返したり、好きなお菓子を食べたりして気持ちを落ち着かせました。また、どんなに問題が難しくても絶対に諦めない心に決めて、本番に臨みました。</p>	<p>北九州市立大学地域創生学群 2次試験は集団討論と小論文のみだけど、今までと違った勉強法を考えなければいけません。先生や親と、ほぼ毎日集団討論の練習をしたので、自信ができました。小論文も先生に何回も添削してもらいました。何回も繰り返して、慣れることが大事だと思います。</p>	<p>山口大学経済学部 赤本の出来が良かったので、精神的な余裕はありました。当然ですが会場では全員が自分より賢そうに見えて、焦ります。</p>
		<p>山口大学工学部 2次試験は化学のみだったので、緊張することなく落ち着いて試験に臨めました。受験勉強の集大成だと思って、リラックスして試験を楽しみましょう!</p>

●進路探究学習の取組～2学期に各コースで実施された進路探究学習の取組を紹介します

【グローバルコース】 高大連携行事

11月7日(火)、グローバルコース1年生が、姉妹校の山口学芸大学、山口芸術短期大学を訪問し、高大連携教育を行いました。大学の説明や模擬講義、大学生(慶進卒業生)とのディスカッションを通じて、大学生活を具体的にイメージすることができました。また、学ぶことの意義や学問が将来の職業にどう繋がっているかを考える、良い機会となりました。



【アドバンスコース】 大学訪問

12月6日(水)、アドバンスコースの1年生が、山口大学吉田キャンパス・常盤キャンパスの2箇所に分かれて大学訪問を実施しました。山口大学のご協力のもと、大学の概要説明、各学部の模擬講義、学食体験、キャンパス見学などを体験することが出来ました。この活動を通して大学を身近なものとして捉え、生徒は、より明確な目的意識を持つことができました。また、生徒の学習意欲も向上した様子でした。



【中高一貫コース】 テーマ発表会

12月23日(土)、中高一貫コース1年生が「テーマ発表会」を実施しました。この「テーマ発表会」は慶進中学校・高等学校のGLP(グローバル・リーダーズ・プロジェクト)の一環で、同じ学問分野に関心を持っている仲間と班になり、班で設定した「テーマ」について探究し発表するものです。今年の学問分野も多岐にわたり、18班が発表しました。この探究で得た学びを、これからの進路学習につなげていきます。



●大学入試の流れを知ろう!(1・2年生)

(ベネッセハイスクールオンラインの記事をもとに作成)

進級まであと2か月です。3年生の先輩たちは今、国公立大2次試験や、私立大学の入試に向けてがんばっています。3年生になった時のために、入試の流れとその時期の先輩たちの学習状況などを合わせて把握し、具体的な受験生の動きをイメージしよう。特に2年生にとって、次はいよいよ皆さんが受験生です。受験生としてスタートを切るために、今からできることは積極的に取り組みましょう!

時期	流れ ※2024年度入試の場合	やるべきこと
基礎力養成期	4月～6月 進路希望調査 入学者選抜要項発表(6月～7月)	学習開始時間を決め、毎日学習する習慣を身につける。新2年生・新3年生にふさわしい学習時間の確保を! 夏休みは苦手克服の最大のチャンス。新3年生は、徹底的に復習を行い、基礎力完成をめざします。
基礎力完成期	7月～8月 オープンキャンパスのピーク (新2年生はオープンキャンパスに積極的に参加しよう!)	新3年生は、身につけた基礎力を土台にして、問題演習などの本格的な受験勉強を開始します。
実力養成期	9月～12月 大学入学共通テスト出願 [9月25日～10月5日]	
入試直前期	1月～3月 大学入試共通テスト[1月13・14日] 前期日程試験[2月25日～] 中期日程試験[3月8日～] 後期日程試験[3月12日～]	

※今回は、一般選抜の流れを紹介しました。入試方法には他にも、学校推薦型選抜と総合型選抜があります。

2月の進学スケジュール

- 1日(木)・2日(金) ベネッセ共通テスト模試(Ⅱ)
- 6日(火) 異文化交流会(ⅡIG)
- 9日(金) アドバンスコーザ(ⅡIA)
- 9日(金) 学年末試験日割発表
- 10日(土) 駿台全国模試(ⅠA希S全)
- 11日(日) 駿台全国模試(ⅡAS希)
- 18日(日) 実用英語技能検定二次試験
- 19日(月)～26日(月) 学年末試験(ⅡⅡ)
- 25日(日)・26日(月) 国公立大前期日程